平成24年6月定例会会議録(第2号)

平成24年6月8日 金曜日 午前10時00分開議 蒲 生 光 男 議 長 安 部 隆 副議長

出席議員(16名)

1番	赤	間	豢	広	議員	2番	梅	津	善	之	議員
3番	江	П	忠	博	議員	4番	今	泉	春	江	議員
5番	小	関	秀	_	議員	6番	竹	田	博	_	議員
7番	我	妻		昇	議員	8番	大 道	1 寺		信	議員
9番	町	田	義	昭	議員	10番	佐々	木	謙	$\vec{-}$	議員
11番	安	部		隆	議員	12番	渋	谷	佐	輔	議員
13番	髙	橋	孝	夫	議員	14番	大	沼		久	議員
15番	小	関	勝	助	議員	16番	蒲	生	光	男	議員

欠席議員(0名)

説明のため出席した者

内 谷	重	治	市	長	新	野	潔	副	Ħ	f	長
飯澤	常	雄	総 務 課	長	平		英 一	財	政	課	長
遠藤	健	司	企画調整課	長	青	木	邦 彦	税	務	課	長
宇津木	正	紀	市民課	長	松	木	幸嗣	健	康	課	長
小 泉	良	_	福祉生活あんしん	課長	種	村	正一	子章	うてす	支援調	果長
遠藤	正	明	会計管理者兼会計	課長	堀	越	俊一郎	監	查	委	員
加藤	弘	\equiv	教 育 委 員	長	加	藤	芳 秀	教	官	Ì	長
遠藤	誠	_	選挙管理委員会委員	員長	鈴	木	榮 一	農業	美委員] 会 会	長
那 須	宗	_	農林課	長	中	井	晃	商	工 振	興課	!長
平	正	行	観光振興課	長	渡	部	政 明	建	設	課	長
浅 野	敏	明	まち・住まい整備	課長	鈴	木	要一郎	上	下水	道 課	!長
鈴木	_	則	管 理 課	長	燕	藤	理喜夫	文化	2生涯	学習訓	果長
佐 藤	孝	博	生涯スポーツ調	是	旅	藤	環樹	学校	給食共	同調理	場長
髙橋		徹	選挙管理委員会事務	局長	児	玉	行 宏	監査	委員	事務周	司長
孫 田	邦	彦	農業委員会事務周	最長	鈴	木	智	消	防	主	幹

事務局職員出席者

 松 本 弘 議会事務局長
 寒河江 新 一 補 佐

 鈴 木 和 夫 議事調査係長
 髙 橋 由 美 庶 務 係 長

議 事 日 程(第2号)

平成24年6月8日 金曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

4番 今 泉 春 江 議員

1番 赤 間 豢 広 議員

3番 江 口 忠 博 議員

13番 髙 橋 孝 夫 議員

7番 我 妻 昇 議員

本日の会議に付した事件

議事日程(第2号)に同じ

開議

○蒲生光男議長 おはようございます。これから 本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。 よって、ただいまの出席議員は定足数に達し ております。

本日の会議は、配付しております議事日程第 2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

〇蒲生光男議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内 となっておりますので、ご協力をお願いいたし ます。

それでは順次、ご指名いたします。

今泉春江議員の質問

○蒲生光男議長 順位1番、議席番号4番、今泉春江議員。

(4番今泉春江議員登壇)

〇4番 今泉春江議員 皆様、おはようございます。

日本共産党の今泉春江でございます。内谷市 長に2つの点について提案し、所見を伺います。 さて、いよいよ花のまち長井の出番となりま した。桜の花がことしは一斉に咲きそろい、最 上川堤防沿いの千本桜、つつじ公園の桜、長井 小学校の桜などがまちじゅう桜色に、そして甘い香りに包まれ、満開の桜はおとぎの国にいるような感じでした。間もなく今度は白つつじが咲きそろい、ことしもその純白の清楚な花に心がいやされました。

また、各町内では春先の早いうちから街路地に花を植えてくださっています。私の住んでいる四ツ谷地区、私の経営している店があるつつじ公園前の片田、神明町などでも街路地の花壇にきれいにパンジーなどを植え、水やり、草むしりなどを行ってくださっています。また、ことしも長井市中央地区女性の会は、あやめ公園の駐車場や長井橋の上の花壇に植栽してくださいました。昨年も秋まで手入れされたきれいな花が咲き続いておりました。このように長井のまちのどこへ行っても、市民の皆様が植えてくださった花々が私たちや長井市を訪れる方々を優しく迎えてくださっています。

長井市の市民の皆様は花を愛し、自分たちのまちを愛し、この長井市を大切にしています。 その市民の皆様の心をしっかりと受けとめて、市長のおっしゃる「日本一幸せが実感できるまち」にしていかなくてはと強く感じるところです。そのためにも第一に大事なことは、雇用の問題です。私は、介護や福祉サービス向上とあわせた雇用の創出について提案し、市長のお考えを伺います。

社会に出たら、だれでもが安定した職につき、 希望ある暮らしをしたいと願うと思います。憲 法第27条は、「すべての国民は、勤労の権利を 有し、義務を負う」と、すべての人の働く権利 をうたっています。ところが、現実は働きたく とも職がなく、職についても非正規雇用が多く、 生活できるまともな賃金がもらえないという状 況が広がっています。その原因の大もとは大企 業が利益追求を最優先し、解雇をしたり、正規 雇用を非正規雇用に切り替えるなどをほしいま まにし、また、これを容認する政治がまかり通